
狼娘

詩音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狼娘

【Nコード】

N2276Z

【作者名】

詩音

【あらすじ】

記者と狼に育てられた女の子の話

とりあえず森に行け（前書き）

初めての投稿となります。

き、緊張……………

いろいろちやちやしてるところもありますが

暇な時に読んでいただけると幸いです）．．．（

とりあえず森に行け

朝、上司から一枚の紙を渡される。

正直すぐくめんどくさいが笑顔でなんですか？と聞くと上司も笑顔で仕事。と言いつつ放った。

「仕事、ですか。」

「お前に任せたいんだが、どうだ？」

どうだと言われてもだ。俺みたいな平社員には拒否権なんてないんだろ。

内容を見ると

狼娘の正体に迫る

とだけ紙には書かれていた。

狼娘、聞いたことがある。

人間としてではなく、狼に狼として育てられた少女。

それを俺に取材しろというのかこの上司は。

「もつと適した人がいるんじゃないでしょうか？」

俺みたいなめんどくさがりが務まる仕事じゃない気がする。

「いや、お前にたのみたいんだ。正直他の奴は例の女優の件で動いてるんだ。」

それが理由ならごまかさずに言えばいいのに。

「分かりました。で、どうしたらいいんでしょう？」
上司は笑顔になる。

「とりあえず森に行け。」

とりあえず森に来たわけなんだが…。

「いるのか本当に。」

あんなのただの噂じゃないのか？

いるのか？狼に育てられた人間なんて。

さわさわと木が揺れる。

不思議な風だった。まるで俺をどこかにやろうとしている。

これは記者である俺の勘だが…

いや、記者も2年しかやってないけど。

きつとこの先に狼娘はいる。

木々が生い茂って俺の行く手を阻むが気にしない。

なにかあるんだそうだ。

確信はあるんだ。

開けた場所にでた。

「…誰も、いな「誰だ!！」」

振り向くと狼を連れた少女が立っていた。

「狼、娘？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2276z/>

狼娘

2011年12月8日01時48分発行